

上田まさや Vol.3 活動報告 新人議員日記 まさやレポート



今、消費税の増税が大きく言われています。98年に諸費税が3%から5%になった時に、逆にトータルの税収は減ってしまいました。また、国民の所得も98年をピークに下がり始めました。自殺者もこの年から3万人を越えるようになりました。デフレの時の増税はマイナスが多いと感じます。

刈谷市民の声 \\ 「刈谷」に対するご意見 \\ 上田まさやが応えます！ //

●逢妻川サイクリングロードについて：予定刈谷総合運動公園から亀城公園まで、今期事業費3200万円一部開通したサイクリングロードは元々防波堤の上に作られており河川の法律の為、転落防止、照明、風など安全対策がなかなか出来ません。市民の方と現地視察を行ない。問題点（道が狭い、風が強い、ガードレールがない、照明がない、地盤が弱いのでは？など）を確認して、県、市の公園緑地課、地元の議員さんと協議中です。こういう問題で県と市の力関係がわかります。市民目線というのを行政の方々は常にもって頂きたい。

●発達障がいについて

最近、発達障がいの御意見を頂きます。刈谷では特別支援学級（知的、精神、肢体、言語、弱視障がい）に約180名が通われています。また、通級教室（通常学級に在籍し、ことばの障がい、発達障がいのある児童が通級して週1～3時間程度の指導を受ける教室）には約30名が通級しています。近年、発達障がいの児童が全国的に増加しています。刈谷ではアスペルガー症候群で3人の児童が精神障害者保険福祉手帳を持っています。発達障がいの児童が精神の手帳を持てること自体まだ知られていないようです。発達障がいは、まだ理解されない部分があり、そこで悩んでいるお子さん、親御さんが見えになります。そういう状況を改善するものが重要です。市では来期、子供相談センターが出来ます。このセンターが悩めるお子さん、親御の悩みの緩和になることに期待しています。

●刈谷市の財政

基金名	(単位：百万円)
財政調整金	9,678
土地開発基金	442
国際交流振興基金	226
美術品等購入基金	589
介護保険基金	169
国民健康保険基金	265
一般廃棄物処理施設等整備基金	211
地域福祉基金	275
緑化推進基金	320
市民市民活動支援基金	13
亀城公園等整備基金	2,514
合計	14,702

●左の図は刈谷市の基金の状況です。財政調整金96億円は困った時に使うお金です。家庭でいうならへそくりみたいなものです。ポイントは亀城公園整備基金が前年の19億円から25億円になったことです。

●市債の状況

市債残高	(単位：百万円)
21年度	503億
22年度	482億
23年度	464億

市民1人あたり約32万円

●刈谷市では市債の発行額が返済額を越えないようにしています。その結果、残高が減少しています。残高が増えている国債とは逆です。

アピタさん前街頭演説



お気軽お声を掛けて下さい
ヨーク堂さん、ヤオスズさん
でも街頭してます。

定例議会

●定例会で以下の一般質問をしました。

- 1 公共施設の維持費について
- 2 結婚対策について
- 3 「まちづくり」の行政の役割、民間の役割について
- 4 自殺対策ゼロについて

質問の映像は、<http://www.gikai-tv.jp/dvl-kariya/2.html>で見れます。

刈谷市の平成22年度の交通事故死の方はお2人です。自死なされた方は30名です。今、自殺対策が刈谷市にとって必要だと感じています。全国自治体で、自殺対策協議会や自殺対策条例等が作られています。刈谷市も、行政、地域、企業、大学、NPO等でワークショップ等を開催して「命を守る」といことを考えなければならいと強く考えます。

●障害者相談支援センターこころ悠々

こころの病気を持つ方、そのご家族の相談窓口です。ひとりひとりに合った生活を見つけるお手伝いをします。電話：0566-24-7017

刈谷市では、今、悩みを抱えた市民の方が増えています。人の幸せにとって健康で心が穏やかである事がもっと大切だと思います。その為に刈谷市はいろいろな施策して行かなければなりません。その為の提案（命を守る条例、命の電話の設置、子供たちに命の大切さを教える啓蒙活動など）を議会で提案して、刈谷市民の心の安定を目指して行きます。

●刈谷の課題

今、全国の地方自治体で老朽化した公共施設の維持費用の増大が懸念されています。1970年代の高度成長時代に建てられた公共施設が30、40年、経過して改修費が増大しています。これからは公共施設の優先順位をつけ市民に役立つ公共施設を維持して行かなければなりません。刈谷の場合はこの15、6年、0～14歳の子供の人口は減っていませんから、小、中学校の維持はしっかりやっておかなければなりません。学校への投資は、子供たちの未来への投資です。

●シリーズ備えよう災害！

●刈谷市被害想定結果

想定項目	東海地震	東海・東南海地震
全壊件数：予想	160棟	1700棟
死者：予想	若干	30人
負傷者：予想	330人	1700人

※平成15年愛知県発表

●刈谷周辺を通過する活断層

豊田市から、大府市を経て西尾市に至る断層帯で猿投～境川断層、高根山曉曲、大高～高浜断層帯で構成されています。

●過去の地震について

猿投～高浜断層帯付近で発生した地震、1861年の西尾市付近の地震(M6)と1945年三河地震の(M6.8)があります。三河地震では死者が2,306人でした

●刈谷市の事業

●心の教室相談事業

悩みをもつ生徒が気軽に相談できストレスを和らげ、心のゆとりをもって学校生活を送ることができるようにするため、各中学に大学生などを配置します。予算：3,988千円
配置数 各中学校1名

●育児ママ訪問サポート事業

家庭に閉じこもりがちな育児中の母親を、専門研修を受講したサポーターが訪問し、母親の心の安定を図り、孤独を防ぎます。予算：1,278千円

●こころの健康や悩みに関する相談

衣裏東部保健所
0566-21-4778

あいこころほっとライン365
052-951-2881

刈谷市保健センター
0566-23-8877



悩んだらお電話を！
1人じゃないよ！
みんながいるよ！

上田まさや まちづくり 刈谷市相生町2-7
事務所 E-mail masaya_ueda70@ybb.ne.jp

Yahooで検索

上田まさや

facebookで刈谷市民と交流中！